

ASPROVA
High Speed Scheduling

アスプローバ

<http://www.asprova.jp/>

【上海発】人件費の急増で価格競争が激しくなっている中国。生産スケジューリングシステム「Asprova APS」を展開するアスプローバ上海は、中国現地のITベンダーと組んで、工場生産を効率化させてコスト低減する同製品の導入実績を急速に増やしている。アスプローバ上海は、中国情勢に精通する地場パートナーの力を借りて、中国特有のニーズにきめ細かく対応し、すでに日系系含め100工場以上に「Asprova APS」を導入している。今後も地場パートナーとともに営業活動を加速化し、ユーザー企業の数をさらに拡大させていく。

「Asprova APS」を活用してコスト削減

競争が激化する中国市場で勝つために

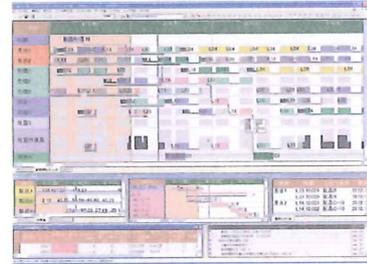
製造業向けの生産スケジューラである「Asprova APS」は、日本国内で1300工場以上の導入実績があり、中国でもこれをコスト削減に活用する企業が順調に増えている。アスプローバ上海は、日系系含め100工場以上の導入を達成したという。同社は、生産スケジューリングシステム（Sler）の「上海拓昌情報システムズ」と提携しており、上海拓昌情報システムズが「Asprova APS」の日系系を含めた中国現地でのAsprova APSの販売や導入、導入後のサポートを手がけている。

中国展開の指揮を執っているアスプローバ上海の平井寛副総経理は、「Asprova APS」は、中国ローカルの製造業者への導入がとくに進んでいる。中国企業はトップダウンでIT製品の導入を決めるケースが多く、日系企業と比べて意志決定のプロセスが圧倒的に短い。中国各地で人件費が爆発的に上昇しているなか、「日系企業も中国の状況を客観的に把握し、意志決定を迅速化しなければ、中国企業との価格競争に勝てない」と警鐘を鳴らした。

工場を見える化

「Asprova APS」は、工場生産の正確な計画立案によって、工場を見える化するツールだ。納品までの時間（リードタイム）を計算したり、製造ラインの負荷を計算することで稼働時間を短縮する。「Asprova APS」導入によって、まとめ生産による段取りの削減や、納期を基準にした部材の手配、生産計画部門の業務を軽減して人員を削減し、計画の可視化により急な注文にも応じられるので、受注を増やすこともできる。

中国企業の第一号ユーザーとして、上海市に本社を置く「思源電気」が、2009年に「Asprova APS」を導入し、年間55万円のコストカットを実現した。思源電気は、電力設備基礎技術の研究開発を手がける企業である。「Asprova APS」の導入前は、経験と勘で判断するため納期が不正確であったり、生産計画の予測ができず、残業が発生するといった課題を抱えていた。アスプローバ上海の平井副総



「Asprova APS」の画面イメージ

経理は、「思源電気様は、当社の製品を使うことによって、計画担当者の数を従来の8人から3人に削減、さらに在庫コストを月間約400万円（10%）削減することができた」と、導入によって確実な成果を上げたこと語る。

上海を中心に中国現地で「Asprova APS」の販売を行う上海拓昌情報システムズは、十数社に及ぶ同製品の豊富な導入実績をもっていることもあって、「Asprova APS」の導入・運用ノウハウを熟知していることが強みだ。また、中国系のベンダーであるからこそ、中国の製造業の現場事情を深く理解しており、日本の先進的な生産スケジューラである「Asprova APS」を、中国でのニーズに最適なかたちで提供することができる。

導入後サポートも充実

上海拓昌情報システムズの葛明星副総経理は、「日本の版社に比べて20%ほど安い価格で「Asprova APS」を導入することができるので、システム導入企業にとって当社を使うメリットが大きい」と、自社の強みをアピールする。さらに、導入にとどまらず、導入後のアフターメンテナンスが充実しており、中国でも「Asprova APS」を日本国内と同じ品質で利用できる。アスプローバ上海の平井副総経理は、「今後も、日系企業の中国進出が進み、「Asprova APS」に対するニーズが旺盛」とみている。上海拓昌情報システムズとともに、同製品の中国での導入実績をさらに上げていく方針だ。

アスプローバ上海は、「Asprova APS」の導入効果について、同社ホームページで詳しい内容を紹介している。

アスプローバ上海
平井寛
副総経理

上海拓昌情報システムズ
葛明星
副総経理

「Asprova APS」の製品ページ <http://www.asprova.jp/asprova/>